

令和6年度 地域包括支援センター活動方針及び活動目標

	運営方針	年度目標
福井明倫 包括支援センター	高齢者が住み慣れた地域で尊厳のあるその人らしい生活を継続することができるようにするため、医療・介護・住まい・介護予防・生活支援・認知症施策一体的に提供する地域包括ケアシステムの構築を図っていく。	① 高齢者の生活支援を行うため、自立支援・権利擁護・介護者支援の視点で地域の関係機関や医療・介護等支援関係機関とネットワーク構築を図り、見守り体制の強化をすすめる。 ② 個別の実態把握や地域の実情を踏まえ、地域の課題について地域住民、関係機関と情報を共有し対応策を検討する。 ③ 介護予防の啓蒙啓発を図り、地域住民の健康や認知症に関する意識を高め、活動的な生活につなげる。
福井あたご 包括支援センター	地域の中核機関として、高齢者が住み慣れた地域で尊厳あるその人らしい生活を継続することができるよう、関係者や関係機関と連携・協働し、高齢者を地域全体で支えるような地域づくりに参画していく。	1. 地域の住民、関係機関、社会資源にアウトリーチし、ほやねっとあたごの周知、地域ネットワークの開発、連携強化を図っていく 2. 支援の手が届いていない隠れたニーズを持つ高齢者の発見・把握に努める
福井中央北 包括支援センター	地域の実態や変化に合わせて、柔軟に活動をしていきます	1. 社会の変化を意識し、臨機応変な対応、チームでの対応で専門性を高めます 2. IT を活用し、多様な方法で情報を発信し、ネットワークを作ります 3. 地域住民、各種団体、サービス事業所等と連携し、災害に強い地域づくりを考えていきます
福井不死鳥 包括支援センター	地域課題の把握と課題解決に取り組むことで高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、地域包括ケアシステムを構築する。 また高齢者のみならず地域住民のあらゆる相談に対応できる体制を整え、関係機関と連携を深め「すべての人が 孤立しない」を目指す。	1. 周知活動を行い様々な年代に包括を知ってもらうことで、様々な分野の相談対応を行う。 2. 誰もが地域の中で相談できるような仕組み作ること孤立を防ぐとともに早期発見につなげる。 3. 地域の中で実態が明らかになっていない高齢者を掘り起こし、実態把握を行う。 4. 民生委員と協力し支援を必要とする高齢者とその家族について情報収集し、支援と見守り体制を強化する。 5. 虐待・困難事例の対応を行い、高齢者の権利を擁護する。 6. 地域の関係者や介護サービス事業所等と連携して地域課題を検討するための会議を開催していく。
福井あずま 包括支援センター	「地域住民の立場で考える」 ・高齢者が生きがいと尊厳を持ち、住み慣れた地域で暮らせるよう支援する。 ・専門性を活かし、職員相互が連携、協働しながら「チームアプローチ」を実践する。 ・公益的な機関として、公正で中立性の高い運営を行う。	住民が住み慣れた地域で暮らし続けていけるよう、地域の特性や課題を共有し、社会資源の連携体制を支えるネットワークの強化に取り組んでいく。 ・高齢者の状態やその変化に応じた医療や介護等の様々なサービスを切れ目なく提供できるように、医療機関や障害、介護保険等の関係機関や団体等とのネットワーク強化に取り組む。 ・介護支援専門員とサービス事業所が自立支援に基づいたケアを強化できるように働きかける。 ・認知症高齢者が安心して暮らせる地域となるよう、見守りや支える体制の構築に向け、認知症の理解と予防を推進する。
福井大東 包括支援センター	高齢者が住み慣れたわが町・わが家で安心・安全にその人らしい生活を継続できるように、各職員の専門性と能力・個性を活かし、地域の住民・各関係機関・地域の社会資源とつながりながら、「チーム大東」として丁寧に包括的に支援する。	・これまで取り組んでいる K 地区の課題に対して、アウトリーチを進め、対応した取り組みを各機関・地域住民と連携し行う。 ・住民にとってより身近で、親しみが持て、敷居を感じないで相談できるセンターとなるように、相談窓口を増やす、または現在の窓口を定着させる。さらに地域住民の欲しい情報をアセスメントし、発信していく。 ・相談支援職として、スキルアップを図るために、自己課題を克服するための研修受講や日々の OJT と定期的な振り返りを行う。
福井九頭竜 包括支援センター	積極的に地域に出向き、自助力・互助力を高める取り組みを通して、高齢者及びその家族が安心して暮らせる地域を目指す。	・介護予防が必要な高齢者の掘り起こし及び把握を行い、早期対応に繋げる ・地域住民や各関係機関との連携を強化し、地域作りに取り組む ・高齢者に限らず、あらゆる世代への周知活動に取り組む
福井北 包括支援センター	地域も含めた自助・互助の意識の向上を図り、高齢者が住み慣れた地域で自立した日常生活の継続を目指す	・介護予防支援業務拡大における包括としての役割を果たす ・住民・地域の関係機関が主体的に住みやすいやさしい街づくりに取り組むような体制支援を強化する
福井みなみ 包括支援センター	高齢者が住み慣れた地域で尊厳のあるその人らしい生活を継続することができるよう、チームアプローチを実践し、公益的な機関として公正で中立性の高い事業運営を行う。	1. 地域の関係者とともに認知症の人やその家族が暮らしやすい地域づくりを目指す 2. 個別事例の支援を通して地域関係者や関係機関とのネットワーク構築を推進する 3. 共通した課題に対して他圏域の包括支援センターと協働して取り組む
福井社 包括支援センター	地域包括ケアシステムの中核機関としての機能を十分に発揮で出来るよう、地域住民、地域の関係機関、サービス事業者、医療機関等と連携を図りネットワークの構築に取り組むことで、高齢者が尊厳をもって住み慣れた地域でその人らしい生活を継続できる社会を目指します。	・地域特性に応じた介護予防教室を実施することで、自助力に対する意識向上を図る。 ・支援が必要な高齢者像をしっかりと捉え、見守りのネットワーク作りや介護予防への取り組みを強化する。 ・全職員が自己研鑽に励み、互いに連携・協働しながら質の高いチームケアを実践する。
福井光 包括支援センター	介護・医療等の支援を必要とする高齢者が個人として尊厳を保ち、自らの能力を活かしながら、住み慣れた地域で共に支え合い、すこやかに生きがいを持って暮らすことができるまちづくりを進め、地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアシステムの確立を目指していきます。	① 高齢者はもとより、圏域内の住民を対象とした個人が抱える複合的な課題にも対応できるよう、様々な機関や団体等と連携し包括的な支援体制づくりに取り組みます。 ② 実態把握等の機会を捉え、介護予防の普及啓発、介護予防の取り組みが必要な方の把握を行います。 ③ 認知症にやさしいお店の認定に向け、地域の店舗や金融機関などに認知症についての理解や協力依頼を働きかけます。
福井川西 包括支援センター	地域の特性に応じた地域ネットワークを構築し、高齢者の自立した生活を支える。	・医療と介護の連携を強化 ・地域の特性や課題を地域住民と共有、地域の自助互助力を高める ・自立支援に基づいたケアマネジメント力を強化
福井東足羽 包括支援センター	高齢者が住み慣れた地域で、ともに助け合いながら、自分らしい暮らしを安心して継続することができるように、高齢者の介護予防の推進、地域の包括的な支援体制の推進に向けた取り組みを行う。	・地域の身近な総合相談窓口として、地域の集まりに積極的に出向き、地区住民が気軽に相談できる体制の充実を図る。 ・圏域が抱える課題やニーズを把握し、地域住民や関係機関と連携して解決に向けて取り組む。